

花・虫・鳥が集う

春を探しに 長田谷津へ

動植物園から大町公園を歩くこと、およそ5分。
現在自然観察園として親しまれているこの場所は、
昭和40年代まで稲作が行われていました。

当時の風景を残したこの場所に歩足を踏み入れると、
そこには水と緑あふれる昔懐かしの風景が広がります。

3月6日は二十四節気の「啓蟄」。

春の訪れを待ちわびていた花が、虫が、鳥が、みなさんを出迎えてくれます。

さあ、家族みんなで春を探しに出掛けましょう。

☎339・0477 自然博物館



- アクセス
- 1 大町駅側入口 北総線大町駅から徒歩5分
 - 2 動植物園側入口
- JR本八幡駅から京成バス
(京成線京成八幡駅・JR市川大野駅から利用可)
 - 動植物園行きで終点「動植物園」下車すぐ
(土日曜日のみ運行)
 - 大町駅行きで「駒形」下車 徒歩15分 常時運行
 - 市川市営園経由市川営業所行きで
 - 「大野町4丁目」下車 徒歩10分 常時運行
 - コミュニティバス 北東部ルート
 - 往復ルートの動植物園下車すぐ
 - 駐車場(動植物園) 500台 有料 普通車500円 1日



とり

シジュウカラなどのおなじみの鳥のほか、
ウグイスのさえずりも聞こえます。



ちょうちょ

白や黄色、オレンジ、
色とりどりのちょうちょが
春を告げてくれます。



てんとうむし

厳しい冬を、枯れ草の根元で
過ごしていました。



つくし

成長が早く、
1日に1センチメートルほど伸びるそう。



がえる

何種類かのカエルが
湿地や林、池で暮らしています。



おたまじゃくし

「あ! おたまじゃくし!」
都会ではなかなか見られない
貴重な存在です。



▲4月に入ると斜面林の新緑が鮮やかです。
湿地も緑が日増しに濃くなります。



かめ

暖かい日は水の中や
岸边でも見られます。



とんぼ

珍しい春のトンボはシオヤトンボ。
コンクリートの園路によく止まります。



たんぽぽ

春らしい黄色い花は、
晴れた日によく開きます。



ふきのとう

3月に咲く花は、
ブーケのようできれいです。

最新情報は自然博物館で

季節の移り変わりは早く、見どころが
次々に変わっていきます。最新情報は、自然博物館(動植物園管理棟2階)へ。同館の
展示室では、長田谷津で見られる生き物の
飼育・展示を行っています。「なぜ」
「どうして」を、ここで解決しましょう。

学芸員 金子 謙一



学芸員と一緒に楽しもう 春の散策会

春の自然をのんびりと見て
歩きます。親子連れ歓迎。雨
天・荒天中止。

☎3月18日(日)午前10時(動物
園券売所前集合)～11時30分
☎339-0477 自然博物館

※掲載した写真には別の場所で撮影したものも含まれるほか、撮影時期にも幅があります。